

### 3 呉竹医療専門学校が目指す人材の育成方針

本校の鍼灸マッサージ科、鍼灸科および柔道整復科は、皆さんが科学的根拠（エビデンス）に基づいた全人的で完結型の医療が施せる医療人になることを期待しています。はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師および柔道整復師は、何らかの理由で体調を崩した人や、骨折や脱臼などの外傷を負った人に対して、法制度上、初診から治癒に至るまでのすべての過程を担える完結型の医療資格です。したがって、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師および柔道整復師は、施術者自身の判断が人々の健康生活に大きな影響を与える社会的責任の重い職業と言えます。

近年、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師および柔道整復師の活躍の場はスポーツ現場、介護施設および医療施設（病院やクリニック）などに広まると共に、さまざまな分野からの期待が寄せられています。しかし、このような社会要請に応えるには、皆さんは確実に力を身につけるための努力を続けなければなりません。絶えず努力するためには、「<sup>う</sup>倦むことのない探究心」を備えていることが重要です。探究心は社会構造の変化や医学の進歩に対する強い関心から生まれます。このような変化や進歩への関心を持ち続けるために、医療に携わる者には次の要素が必要になると本校は考えています。

- (1) 現代社会への積極的な関与
- (2) 社会の変化や進歩に対する鋭い嗅覚
- (3) 医学領域に限らず「知識・技術吸収」への意欲
- (4) 医療の現場で実践できる実践力
- (5) 「思いやりと奉仕の心」に裏打ちされた豊かなコミュニケーション能力

本校では東洋医療のプロフェッショナルとなるために、これらの要素を身につけるためのカリキュラムと学習環境を用意しています。そして、皆さんが自ら必要な知識や技術を発見し、その重要性を認識すると共に、それらを吸収するために主体的に取り組むことができるシステムを据えています。また、学習の場では様々な疑問や解決すべき問題が生じることも考えられます。本校ではそのような疑問や問題に直接答えを提供することはせず、むしろ、皆さんがこれらの障害をチャンスと捉えることができるような支援をします。それと同時に、医療や社会への問題意識を共有する教職員や仲間と探究する上での問題の解決に向けて「共同作業」に取り組むことも重視しています。

最後に、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師および柔道整復師になるためには国家試験に合格する必要があります。しかし、本校では国家試験の合格が皆さんの学習の終点であるとは考えていません。それは、豊かな発想と広い視野から病める人々が抱える問題を的確に捉え、健康な生活に導く能力を自ら学び取る教育、すなわち問題を自ら発見し解決に導く「問題志向型医療」を実践できる医療人の育成を、本校は目指しているからです。